

平成29年9月13日
ぐんまみらい信用組合

第8回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第8回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第9回会議は、平成29年度仮決算状況を踏まえて平成30年1月頃に開催する予定にしております。

記

1. 日 時

平成29年8月1日(火) 午前10:55分～午後0:35分

2. 場 所

群馬ロイヤルホテル 9階 ローブルーム

3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

小林 優公 (弁護士)

千代 清志 (群馬県商工会連合会 専務理事)

根岸 富士夫 (公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)

平田 稔 (公認会計士)

矢澤 敏彦 (高崎商工会議所 専務理事)

矢野 修一 (公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

小林 章 (理事長)

小野 和茂 (専務理事)

八高 武 (常務理事)

大野 米雄 (常勤理事)

新井 伸章 (常勤理事)

羽石 良夫 (常勤監事)

4. 小林理事長挨拶

皆さんこんにちは。6月の総代会以降、新たな執行体制がスタートして1ヶ月が経過した

ところでございます。現在、総代および主要取引先を中心にご挨拶をさせて頂いておりますが、群馬県全域をエリアとしており、お互いの顔が見える関係を構築すべく、訪問させて頂いております。

平成29年度の運営方針と位置付けておりますリレーションシップバンキングの遂行によりお客様第1主義を通じ地域になくしてはならない信用組合を目指して参りますので、各委員の皆様におかれましては、今までと同様にご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。また、言うまでも無く信用組合を取り巻く経済環境、収益環境は大変厳しい状況下にあります。景況感も先行きが見えていないということもありまして、当組合といたしましては、地域のお客様の金銭面やコンサル面でしっかりと支える使命を果たしていきたいと考えており、実践にあたっては人材の育成、営業力の強化が必要になってきます。また、各関係団体等との地域活性化に向けた連携協力も必要になると思います。継続して取組みを強化していきたいと考えておりますので、本日の会議において、貴重なご意見、アドバイス、ご提言を宜しくお願い致します。

5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ① 平成28年度決算の概要について
- ② 第2期経営強化計画の進捗状況について
- ③ 第7回経営諮問会議のご意見、ご提言の取組状況について

6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・民法（債権法）改正の中では、創業者や事業規模が確定していない融資先については、個人保証が必要となることから、第3者保証はやめるべきといった意見もあり、第3者が債務を保証する際には公証人の意思確認を必ず取るといった制度になったようです。第3者が債務を保証する場合、これに対する窓口対応も変わってくると思うので、その辺の対策を考える必要があると思う。
- ・従業員の勤務環境で、時間外手当や超過勤務について問題が起こっている企業が出てきている。適切な労働時間の厳守、あるいは従業員のメンタルヘルスといった部分について適切な運営が必要ではないかと思う。
- ・融資については、リスクを取るということは良い面もありますが、数年後にいろいろ出てくると大変な面もありますので、保証協会等をうまく利用して、リスクを軽減しながら貸出を伸ばしていく方法しかないのかなと思う。貸出を伸ばすための即効性のあるやり方はなかなか無いが、審査の面においても、お客様と今までしっかり何処まで付き合いしてきたのかということが大きいと思う。
- ・経営者が高齢化する中で、如何に若い経営者が安心して融資が出来るような見通しを詰めていくかだと思う。中小企業庁の「経営力向上計画」についても、融資先と強調して作成していくような形が増えてくれば良いと思う。
- ・職員向けの研修を多く開催していますが、研修を受けた内容がどのように仕事に活かされているのか、あるいは逆に仕事のニーズがあるからこの研修を受けるといったような

体制作りをしていく必要があると思う。

- お客様から預かった預金等のうち、組合の中で余裕のある資金について、新しい事業を行うなど、何か利益に繋がるような方策を考えなくてはいけないのかと思う。
- 新聞購読について、上毛新聞は地域密着の観点から、自分の勉強のためには全国紙の購読が必要だと思う。
- 一番大事なのは人材育成、具体的には目利き力を高めることであり、まだ数字になっていないものを、しっかり情報分析ができる力であると思う。目利き力を高めるためには当然、新聞購読は必要であり、中でも日経新聞は是非購読して頂きたいと思う。例えば、支店長が率先垂範して経済情報に関する新聞やテレビの記事を朝礼で話題にすることにより、アンテナの性能も良くなるかも知れないし、目利き力を高める第一歩となるのかなと思う。
- 目利き力を高める取組みとして、大学その他のセミナー・イベントにも参加して頂いて、上手く活用して頂ければ良いと思う。また、融資先がどんな商売をしているのか、現場に足を運び、現場を見ること。何もしなければ目利き力の向上は出来ないので、支店長や上司が率先垂範して示さなければいけないと思う。
- 職員の資質向上や地域密着型金融については掛け声倒れにならないように、しっかりと取組んで頂きたいと思う。

以 上